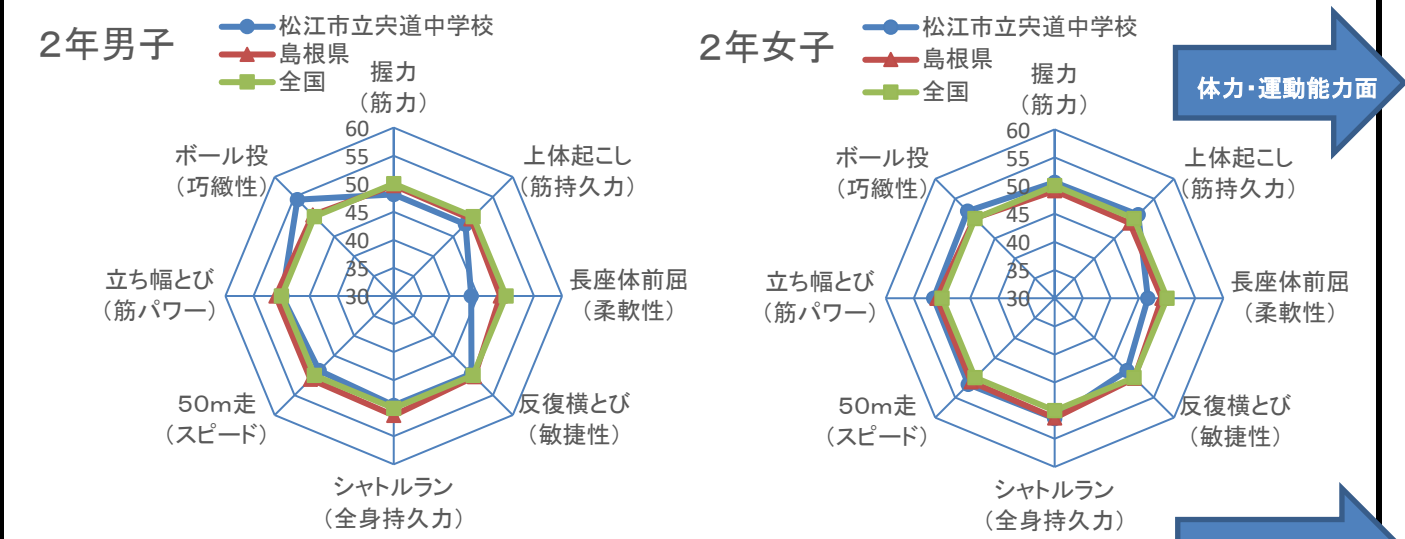
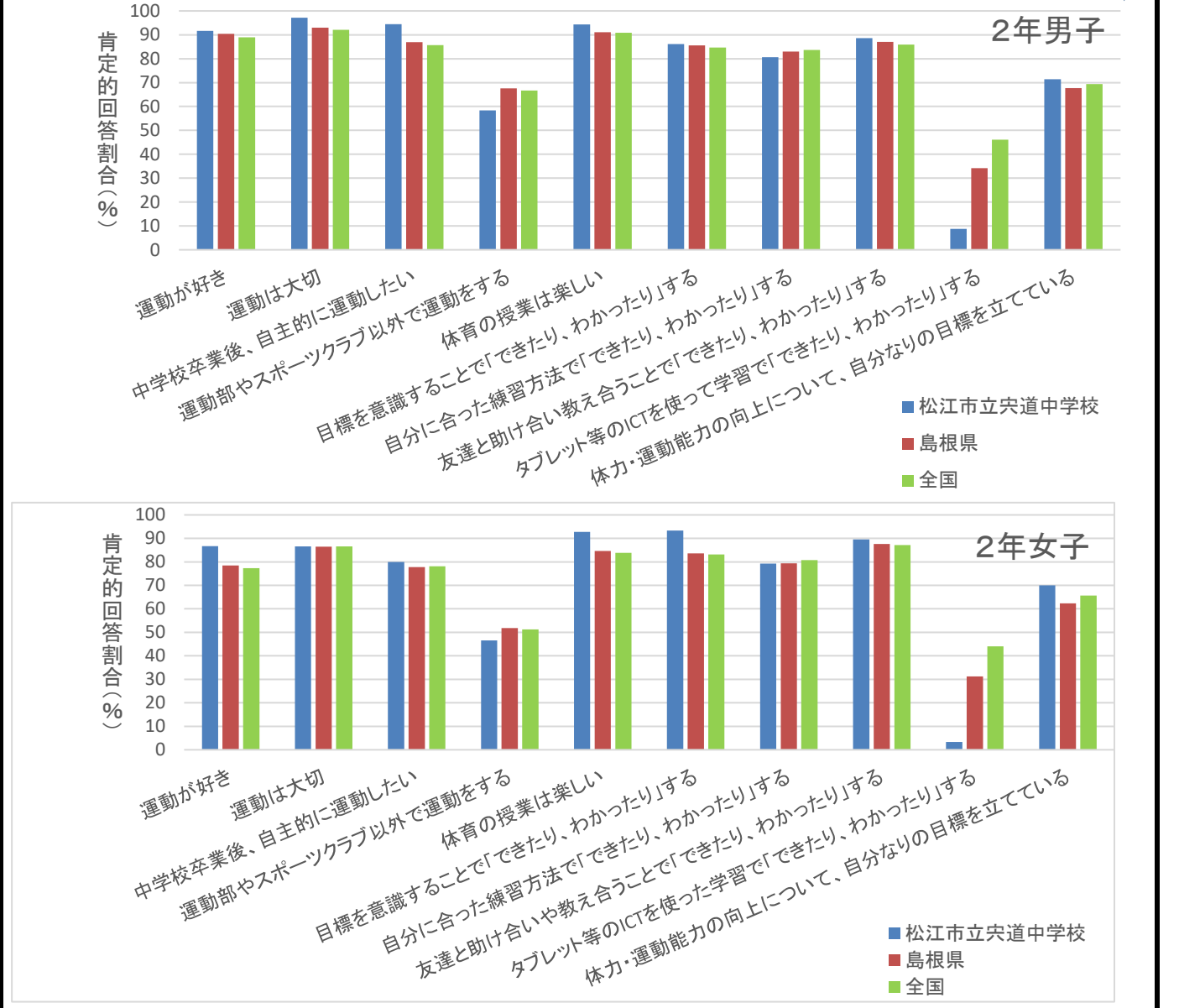


(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-1.9	-1.9	-6.2	-0.4	-0.5	-1.2	-0.1	4.3
女子	0.6	1.0	-3.4	-1.8	1.4	1.7	1.5	1.9

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後、自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することできたりわかったりする	自分に合った練習方法できたりわかったりする	友達と助け合い教え合いできたりわかったりする
男子	2.8	5.1	8.8	-8.3	3.5	1.4	-3.1	2.7
女子	9.4	0.0	1.9	-4.6	9.0	10.1	-1.5	2.4

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする
体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

男子	-37.3	2.0
女子	-40.7	4.3

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
- ・体育科での取組を職員会等で共通理解し、集団行動等、体育以外の場面でもその向上に取り組む体制をつくる。
 - ・保健体育科の研修で学んだことから、全教育活動に通じる内容を精査し、職員会等の場で周知する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
- ・本年度の「体力・運動能力調査」の結果から、令和5年度に向けて、準備運動、補強運動の内容を工夫し実践に繋げる。
 - ・毎時間、「めあて」の確認や授業の終わりの「振り返り」をすることを習慣化する。
 - ・ICT機器を活用することで、模範的な動きを示すことやお互いに「見る」機会を増やし、意欲の向上に繋げる。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
- ・「体力・運動能力調査」の結果を全教職員で共有し、部活動、その他、全教育活動の中で意識した活動に繋げる。
 - ・生徒会活動、特に保体委員会の活動の中で、全校生徒がスポーツや体力の向上に関心を持ち、行動化できる取組を検討する。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・小中一貫教育の中で、小学校と共通の課題を捉え、9年間を見通して取り組む。
 - ・朝食を食べることや睡眠の大切さなど、健康教育に関する内容を、学年便りや学年PTA等で家庭に呼びかけ、実践化を図る。